

『フード・インク』の監督が語るアメリカの食と農の現状

～今日のごはん選びが必ず変わります!～

急速に失われつつある生物の多様性について考えるために、国連が定めた「生物多様性の日」。その5月22日には毎年、生物多様性に関するイベントが世界各地で開かれています。

「食農市民ネット」では、生物多様性を食べものと農業の視点から考えようと、映画『フード・インク』の監督で、食と農の問題に精力的に取り組んでいるロバート・ケナーさんをアメリカからお迎えして生物多様性の日の記念イベントを開催します。『フード・インク』はアメリカの食品産業の闇に迫った衝撃的なドキュメンタリー。この中で監督は、私たちがどのような食べものをどのように食べるか、1日3回食事のときに考えることで、大量生産・大量消費のフードシステムは変えることができるという、力強いメッセージも発信しています。『フード・インク』の上映とあわせて、監督からアメリカにおける食と農の現状や、いまアメリカで盛り上がっている遺伝子組み換え表示を求める動きについてお話しいただきます。

さらに、生物多様性と遺伝子組み換え生物について考え、遺伝子組み換え生物に関する国際ルール「名古屋・クアラルンプール補足議定書」の重要性をみなさんと共有します。ぜひご参加ください。

日時

2012年**5月22日**(火)
13:30~17:30
 (開場 13:00)

会場

大阪国際交流センター
小ホール(地図裏面)
 最寄駅 近鉄大阪上本町駅徒歩5分

内容 第1部/映画『フード・インク』上映
 第2部/ロバート・ケナー監督講演 ※逐次通訳
 生物多様性と遺伝子組み換え生物について

参加費 1000円

※定員になり次第、お断りする場合があります

<問合せ先>食農市民ネット事務局 TEL 03(5155)4756 Eメール office@fa-net-japan.org



食と農から
 生物多様性を考える
 市民ネットワーク

主催:食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク(食農市民ネット)
 協賛:株式会社アンプラグド

※この「生物多様性の日」記念イベントは地球環境基金の助成金を受けて行なっています。